

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

大分県知事 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市博多区博多駅前3-12-10  
氏 名 鹿島建設株式会社 九州支店  
常務執行役員支店長 小森 浩之  
電話番号 092-481-8001



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島建設株式会社 九州支店
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前3-12-10
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

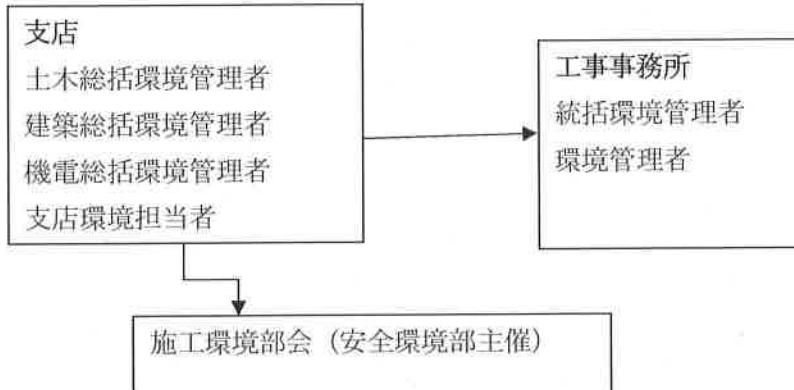
①事業の種類	06 建設業・総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高 80 億円 (大分県域)
③従業員数	28名 (大分県域)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>工事現場で発生した産廃 → 収集運搬(委託) → 中間処理場(委託) → 再生材</p> <p>工事現場で発生した産廃 → 収集運搬(委託) → 最終処分場(委託) → 有価物</p>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	別紙1 参照		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 大規模現場では、木くず、廃プラスチック、廃石膏ボード、金属くず、紙くず、コンガラ、ガラス陶磁器くず、混合廃棄物 小規模現場では、コンガラ、木くず、金属くず、混合廃棄物
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的には前年度と同じだが、大現場では混合廃棄物をできるだけ少なくする
②計画	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	<b>別紙2参照</b>		
	処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への	t	t
別紙2参照			
処理委託量			
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する項目	方針										
	【前年度(令和5年度)の実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃油	混合廃棄物
排出量(t)	475.4	1,929.2	156.2	57.6	23.1	11.4	355.5	0.0	0.0	216.5	

(ニセ吉至に密接した取組)

① 理狀

ゼロエミッション活動による発生抑制……ゴミになるものなるべく現場に持ち込まない

- ・工場生産化(プレカット、PC化、プレファブ化)
  - ・システム型枠の使用、打ち込み型枠工法の利用
  - ・梱包を少なくする、梱包をなくす

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃油	混合廃棄物
排出量(t)	427.0	1,736.0	140.0	51.0	20.0	10.0	320.0	0.0	0.0	194.0

(今後実施する予定の取組)

200

前年度と同様に、ゼロエミッഷン活動による発生抑制……ゴミになるものをなるべく現場に持ち込まない

- ・工場生産化(プレカット、PC化、プレファブ化)
  - ・システム型枠の使用、打ち込み型枠工法の利用
  - ・梱包を少なくする、梱包をなくす

